

目標達成計画

作成日: 平成30年2月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 ・ 37	馴れ合いの中で本人の思いを無視した対応になっていないか、人前で大きな声で誘導をして本人を傷つけていないだろうか。常に本人の気持ちを大切に考えて目立たず、さりげない言葉かけや対応に配慮できるようにしたい。	利用者一人ひとりのプライバシーを尊重、確保しさりげないケアを心がけたり、自己決定しやすい言葉かけをするよう努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・年長者として敬意を払うことを忘れない。 ・誘導時は本人が傷つかない様に側に寄り添い、さりげない声かけをして恥ずかしいと思われることは決して行わない。 ・利用者へ向けて発している言葉の内容や語調が本人の誇りを傷つけたり、プライバシーを損ねていないか日々職員同士で確認し合い、改善すべきことは事業所全体で取り組んでいく。 	6ヶ月
2	35	災害は予測ができない。また、ビルの4階に施設があることで階段を降りるなど避難に時間がかかるため、地域住民の方の協力が必要である。町内会や運営推進会議の委員、ご家族は避難経路がよくわからない。	避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などを消防署の協力も経て、定期的に行う。また、地域住民の参加、協力を得ながら訓練をしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災センターの職員による消防訓練を職員全員が定期的に受ける。 ・運営推進会議時に家族や委員、外部の方々に避難経路の説明をしておく。 ・避難訓練時には地域住民の参加、協力を得ながら実施する。 ・日頃から役割分担をしておき、日中の火災の場合、早番が初期消火、日勤と遅番で避難誘導する。(通報については自動でできる) 	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。